

R1主事招聘研究授業【英語】リフレクションシート

令和元年度 竹富町立船浦中学校

互見授業（6月）リフレクション				令和元年度
日付	6月24日	回答者数	7	竹富町立船浦中学校
教科（学年）	英語（2年）	【本時のめあて】 I can ask & answer about this summer.		
授業者 氏名				

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
		評価		
		◎	○	△
1	学習用具を忘れずに準備することができる。	100%	0%	0%
2	授業が始まる時刻には、席に着くことができる。	100%	0%	0%
3	授業のあいさつで3秒礼ができる。	100%	0%	0%

授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
項目		評価		
		◎	○	△
4	深い学びへ	29%	71%	0%
5	深い学びへ	43%	57%	0%
6	深い学びへ	17%	67%	17%
7	主体的	29%	57%	14%
8	主体的	86%	14%	0%
9	対話的	71%	14%	14%
10	対話的	43%	29%	29%

○よかったところ ・生徒が積極的に手を挙げて発言していたのは良かった。質問も良くやっていた。めあてとまめが正対していた。・振り返りでそれぞれしっかり振り返っていた。 ・生徒達の笑顔がある授業で良かった。信頼関係がありなごやかな雰囲気であった。 ・電子黒板の使い方、ワークシートの使い方に工夫が良かった。Hさんの表情が良かった。 ・起立させて答えられたら座っていくやり方、良かったです。一人一人がしっかり理解できているかチェックすることができる。（前半）その後、後半はテンポ良く進んで良かったです。 ・いろいろとペアをつづけていたのは良かった。動きのある授業で、みんなの表情が良かった。 ・自然体で受けられている。先生と生徒のつながりがとても良いように感じました。 ・たくさん会話ができるのが良い。先生も良く動く。落ち着いてトークし合っているの、学習効果があると思います。 ・この夏の（相手の行動を考えて）計画を聞くのは本来の会話にも使えるので良いと思った。 ・導入からテンポ良く「Will」を使った対話に入っていたので良かった。「Make 2 sentences.」という指示も明確。読む書く話すのバランスが良かった。 ・一人一人質問に答えて、質問をつくらせていたのが良かった。 ・「今年の夏なにをする？」がゲーム式で楽しみなができていた。 ・電子黒板の使い方が良い ・言わせてみてWritingで定着を丁寧にしている。挙手を「Let me try」と英語でさせてGood. ICTで定着を図ってGood.	●改善点 ・問題をさせたときに間違いを消しゴムで消していたので、消さないで見え消して訂正させた。 ・ペア活動のとき先生がついていないペアで活動が停滞している場面があった。そのときの手立てが必要。 ・45分で授業が終わってしまっ。後の5分で振り返りやその共有までやってみるなど、いろいろな活動ができはす。もったいなかった。 ・板書の工夫めあて・まめ・振り返り・一問一答になっている時があったと思うので、避けた方が良くと思います。 ・説明するとき、生徒が書くときと、区別が必要だと思います。 ・もう少しテンポ良く展開していくと、もっとも生徒も元気に発言してくれるのかなと思いました。 ・発言していたがそれをノートにまめるとき、単語が分からない…このようなとき、どうしたらいいのかな。 ・振り返る時間があつた（3分くらい）ので、もったいないと思いました。ノートに書き取るものが少し少ない気がしました。1人の考えをもっと共有させる場面があつても良いと思います。 ・最初はペアワークなので座つたままで良いが、立たせて動的な流れでそのまま進めても良かったかな。または、対話の前にカードにやりたいことやメモなどをカードに書かせて、ペアワークへと進め、他己紹介の時に答え合わせに使うなどでも良さそう。 ・立たせて1人ずつより、お互いにチェックさせて～と進めた方がたくさんトライできる。（置）→（質）のチェックは後で教師がやってあげるという進め方でも良いかな。 ・もっと生徒のリアクションを引き出したい。（答えるのを待つ） ・共通するエラーは板書等で全員で確認。ワークシートで人物になりきるものが、読めばできるレベルの低い物。このクラスならもう少し発展的でもできるのでは。 ・まめめは生徒の言葉or穴埋めで。
--	--

その他 ・オールイングリッシュの授業を心がけていると思うが、所々日本語の説明があつたので、なるべく英語でやってほしい。（我慢も大切です） ・今日はプリントの中の人についてのことだったが、自分に置き換えての時間をもっと確保すると生徒ももっと乗ってくると思う。 ・場の設定（この授業を受けると何の力が身に付くか）を具体的に試みては。（ワークシートを活用してのactivitiesの時、ジョークでも良いと思います。 ・「めあてがスタートして25分くらいで提示していたのですが、英語は…授業の半分までいたので…分からなくてすみませ。教科によっていろいろ違いますね、勉強になりました。 ・テンポ良く「まずずきまずきない感じ」、対話中心に授業が進められていたように思います。（帯活動） ・自然と生徒が発言できる雰囲気が出てきたと思います。・会話の始め方、途中の相づち、終わりの方も意識してコミュニケーションをとれるようにしてほしい。 ・授業時間が1分早く始まり、4分早く終わっている。 ・Communication Activityが2つと、丁度良い分量。 ・文法の定着→活動→まめめと授業マネジメントが残り5分で完をするか。（45分で終わっている）	【授業者の振り返り】 ・クラスの生徒全員が積極的に、誰とでもペア学習できるので、話して言ったことを書くという流れで、かかわりながら学ばせることができました。 ・今回、いくつか人物を設定して、その人物の情報を使ってやりとさせたが、生徒自身が質問を考えてつづける活動ができたら良かったと思った。
--	---

指導主事等要請公開授業リフレクション				令和元年度
日付	7月1日	回答者数	9	竹富町立船浦中学校
教科（学年）	英語（2年）	【本時のめあて】 I can ask & answer about my tour plan.		
授業者 氏名				

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
		評価		
		◎	○	△
1	学習用具を忘れずに準備することができる。	100%	0%	0%
		100%	0%	0%
		100%	0%	0%

授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
項目		評価		
		◎	○	△
4	深い学びへ	33%	67%	0%
5	深い学びへ	33%	67%	0%
6	深い学びへ	25%	50%	25%
7	主体的	44%	44%	11%
8	主体的	56%	44%	0%
9	対話的	44%	56%	0%
10	対話的	44%	44%	11%

○よかったところ ・導入の復習のところでペア学習を入れお互いに確認合っていたのはよかった。 ・よく教材研究をしている様子が見て取れ、前回の互見授業の反省が生かされていた。 ・生徒が積極的に挙手して発言していた。 ・生徒がじっくり考える時間が確認されていた。ペア活動も充実していた。 ・説明するところ、ノートを取るところ、回答するところなどメリハリがあった。 ・「さん」が「the US」と「the」をつけることが身に付いていてvery good. ・説明がとても丁寧（教師）だった。・ICTの活用が生徒の興味を引くものだった。（先生の日頃の教材研究、教材の準備が素晴らしい） ・すべて英語でやっているのが、とても伝わりやすく生徒を安心して授業に参加できていた。How long～のときの「ナース！」の要め方がとても良かったと思います。「7日間いる」でforが要るという指導はためになると思った。 ・前時の復習でひつかつた生徒に対して、「ノートを見て」と声かけていた。 ・細かく机間指導して教師がチェックしている。・ワークシートがちゃんとヒントカードになっていた。・振り返りシートがちゃんと定着している。 ・教材づくりに教師の頑張りが見られる。（提示する画像のチョイス） ・前置詞の指導よかった。（for）・電子黒板（イラスト）を見ながら答えていたのは良かった。・一人一人答えて座るやり方、面白い。 ・モデルを提示しているのは良かった。・適宜、フィードバックを与えることができた。 ・教師と生徒の信頼関係（笑顔）・書く時間の確保が良かった。 ・ペア学習で、お互いの答えを発表させたり、チェックし合っているのは良かった。	●改善点 ・大切な部分（今日の授業では疑問詞について）は、板書するなど、しっかり確実に押さえるようにしたい。 ・アクティビティのときに最初が良いが、できるだけ書いたものを見ないで言うようにしたい。・めあてとまめめの整合性（正対していたか）はどうだったか。・「on a trip」や「going to」などLinking Wordsの指導。・I amとI'mの統一。話し言葉と書き言葉。・ワークシートに頼らない時間を作る。コミュニケーション（アイコンタクト）に重点を置きたい。 ・質問力→相手に興味をもつこと。共感する力をどうつづけるか。（他教科とも通ずる） ・立ってトークさせるときに、HiとかThank youとかSee youなど、会話に必要な相の手のようなものをもっと加えても良いと思いました。（Really?のときみたいに） ・めあての文章「I can～」が、毎回似ているので、生徒とのやり取りの中でめあてを練り上げる授業があつても良さそう。 ・聞く、書く、話すのバランスは良かったと思うが、テンポが少し滞っていたので指示を明確にして、テンポ良く進めたい。 ・課題が終わった生徒が何をするか、ある程度決めておいては。 ・質問の仕方をもっと少し分りやすくすると、生徒もスムーズに答えられたかな。（説明したらすぐ答えられた） ・1人の生徒が答えるとき、他の生徒がそれを聞く必然性がない。 ・お互いのコミュニケーション能力（相手に伝える）ことの難しさ。（自信のなさ） ・先生が板書するとき（Are you going to…?）の指示を具体的に生徒に出していた方が良かったのかな。（・）と思います。ワークシートの使い方はできてた）
---	---

その他 ・アクティビティの場所は窓際ではなくもっと広い所を使うなど配慮したい。・単語のスペルを教師に関わっていたが、自分で辞書で調べるようにさせたい。・発音が上手になっていた。（仲地先生） ・電子黒板で教材の工夫が良かった。 ・コミュニケーションとして、「Nice, Good, Excellent, Wonderful, Perfect, Great」など（褒め言葉として）先生からのリアクションを揃やしてはどうだろうか。・忙しい中、本当にお疲れ様でした。 ・めあて「まめめ」「振り返り」の英語バージョンがあつても良いなと思いました。・Yes/Noで答える質問から疑問詞（SWIth）の答とる質問へ上手にシフトしていた。・コミュニケーションなので、リアクションの指導は常に徹底したい。 ・タイムマネジメントを意識して、前半に時間をかけすぎない。・発音のチェックもできると良い。（What are you going to～をフツフ～と言ったりLet me tryレッツ～と言ったり）・ペアでの話し合いが山場。・教材研究の努力の成果。 ・子どもたちの活動の中で見学の教師の声が目立つ。楽しい雰囲気作りのために必要か迷うが…子どもたちの緊張感が軽減している。	【授業者の振り返り】 ・モデルを見せて、ペアで伝え合って話したことを言ったり書いたりさせるという活動の流れを宮崎健先生から教えて頂いて、英語で授業をスムーズにできるようになってきた。 ・宮良健先生の指導助言や授業検討会の協議発表を通して、練習やまめめなど、生徒が考えや意見を出して共有できる場面をもっとつくれたので、考える時間を確保したい。活動前に時間指定や聞く、話す人それぞれの役割等を確認してルールを守らせたり、レベルアップした活動に取り組ませたいと思った。
--	---